

下榎交流センターだより

編集 日野町下榎交流センター
〒689-4526 日野町下榎 157 番地 1
電話：72-1191 (FAX 兼)
E-mail：rinpoka@town.tottori-hino.lg.jp

鳥取県隣保館連絡協議会通常総会及び職員研修会に参加して

下榎交流センター 西村一成

4月17日、琴浦町の生涯学習センターで、鳥取県隣保館連絡協議会通常総会及び職員研修会に参加しました。

職員研修会では、「部落差別の現状」と題し、関西大学社会学部教授の内田龍史さんの講演が行われました。

①「本研修会のねらい」部落差別の現状を把握し、撤廃に向けた学習をする。学習をして正しい知識を身に付け、その輪を広げていくことが大事である。

②「部落問題とは何か」社会的に解決されるべき社会問題である。被差別部落に居住、ルーツを持つ人々を、結婚や就職など色々な場面において遠ざけ見下し、その存在を無視、さらにそれを容認

する行為を指す。

③「部落問題の現在」現在の部落問題の特徴の中には、差別されたくないために差別をするという特徴が見え隠れする。インターネット上に被差別部落をアウティングする行為が行われている。この行為は、差別されない権利を侵害する行為である。

【感想】この地域において長年、部落差別について学習してきて、今回の講演は基本的なこと（差別されない権利）を再確認できました。正しい知識を身に付けることは大事なことです。部落問題だけでなく、あらゆる人権問題について学習し、正しい知識を身に付け、自身のスキルアップに繋がりたいと思います。

西部地区隣保館・集会所等職員連絡協議会通常総会及び職員研修会に参加して

下榎交流センター 館長 飛田朋伸

4月22日、南部町天萬庁舎で、鳥取県西部地区隣保館・集会所等職員連絡協議会の通常総会と研修会に参加しました。

研修会では、「本質を見抜く力～いろはうたに学ぶ」と題し、法勝寺中学校の船越路央校長が講演を行いました。

「いろはうた」は、7行7列に分解して解説していくと、暗号が書かれているとも言われています。7文字目や5文字目だけを読むと、一つの言葉とし読み取ることもでき、作者不明ではありますが、流刑の柿本人麻呂がメッセージを隠し、本質を届

ける妻への文書ではないかとも言われています。

また、船越さんは「子どもの本質とは何か。人は仮面をかぶるが、外観を変えている子どもは分かりやすい。（人と変わった制服を着るなど）子どもは、場所場所で仮面をかぶる。学校では別の仮面、家でもまた別の仮面。子どもを見守り、仮面を外すようにすることが大切。子どもも苦しんでいる。隣保館・児童館等で見守ってやってほしい」と話しました。隣保館・児童館の、地域の子どものたちの見守り場所としての役割を再確認しました。

「令和6年度 部落解放・人権尊重標語」の募集について

人権尊重の意識高揚を目的として、町内の児童・生徒や町民の皆さんから「部落解放・人権尊重標語」を募集しています。

一人一人が大切にされ、誰もが希望を抱いて心豊かに暮らしていける地域づくりを目指して、人権を守るために出来ること、感じていることなどを標語にしてみませんか？皆さんのご応募お待ちしております。

応募用紙の指定はありません。作品に住所と名前をご記入ください。入選作品は、広報ひの7月号に掲載するとともに、短冊・ポスターにして町内の施設・各事業所に掲示するなど啓発に活用します。

なお、入選者には賞状と記念品を贈呈します。ふるってご応募ください。

★募集締切

6月11日(火)

★作品提出先

・下榎交流センター

・教育委員会

・町公民館

日野町 歴史 の窓

第1回「あなたのまわりの文化財」

文：町教育委員会事務局

歴史とか文化財というと難解そうな印象や、指定等文化財を想起して、そもそも自分とは関わりがないのではないかと考えておられませんか。

しかし、実はあなたのまわりには歴史や文化財がいっぱいなのです。長楽寺の仏像や近藤家住宅、歴史民俗資料館（旧根雨公会堂）、泉龍寺の因幡二十土遺品などの指定・登録等文化財に限らず、道端に見られる何気ない石造物、古写真や日記などの紙類、桶や甕、包丁や鎌など生活や仕事用の木竹製品や金属ガラス製品も立派な文化財です。

振り返ってみると、平成からは35年、昭和からは実に100年が経とうとしています。日野町ができたのは昭和34年ですので、65周年を迎えました。



【川舟の碑】（根雨）

「ひの川の岩打つ瀬々の波よりも 砕くは人の心なりけり」近藤喜六が日野川整備にける思いを詠ったもの。地域のことを物語る石造物は、皆さまのお近くにもあるのでしょうか。

時代も世相も変わり、近年の人口減少や担い手不足の現状から、先祖より伝来してきた記録の散逸、記憶等が忘れ去られてしまうことが懸念されます。お家の蔵や倉庫の片付けなどで出てきた古文書や生活民具、古写真などではできる限り保存をお願いしたいと思っています。廃棄を検討せざるを得ない場合は、教育委員会事務局にご連絡をお願いします。町では、地域のさまざまな文化財や歴史、文化を継承し、そして活用する「文化財保存活用地域計画」を作成し、文化庁の認定を受けました。歴史や文化を構成している文化財に光をあて、町を形づけてきた地域の資源として伝えていくとともに、これからの町づくりに生かしていきたいと考えています。

集落支援員 だより

KATAGIRI KEI
片桐 圭

担当地区：
高尾・後谷・金持



小さな拠点「宝仏山源流の会」集落支援員の片桐です。

4月27日に、小さな拠点の年間活動計画について話し合いを行いました。そのなかで、金持公民館の向かいの空き家を活用して、食事会やカフェを始めることが決まりました。金持の皆さんにお手伝いいただき、片付け、掃除などを行い準備を進めています。

築150年以上の古民家を、地域の皆さんと有効活用していこうと思います。



▲金持地区の空き家を活用

AWATANI SORA
粟谷 壮良

出身地：境港市
情報発信推進員



春も終盤。最近は、桜やツツジなどを撮影した写真の編集を進めています。各SNSに投稿しますので、ぜひご覧ください。



また、昨年の夏から「しいたん広場」のインスタグラムも始めています。しいたん広場の日々の様子やイベントの様子を随時お届けしていますので、ぜひフォローをよろしくお願いします。

しいたん広場
インスタグラム

